

2023(令和5)年度

事業報告

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

公益社団法人 日本ラクロス協会



要 旨

【事業概況】

2023 年度基本方針①『大会運営を分かっている人が、コロナ禍で一度止まってしまった歯車を回しなおす』、②『長期的成長のためのインフラ・仕組み作り』に基づき、大会運営、研修などの「人とエネルギーが動く現場」に注力し、選手・運営(特に学生)の対面コミュニケーション機会を増やすことで、現地観戦の価値の再認識、観客動員増に取り組みました。ボランティアが活躍する現場を創りつつ、ラクロスの独自文化の復活を軸に活動しました。その上で、2026 年女子、2027 年男子世界選手権大会の日本開催招致に成功し、中長期の事業戦略を構築するベースシナリオが固まりました。2028 年ロサンゼルス五輪の追加競技に選ばれたことで、国内外からの注目度も増し、ラクロス新時代への一歩を踏み出した歴史的な年となりました。

[大会運営] 公式戦(各選手権大会・各地区リーグ戦)の価値を高めるべく、対面コミュニケーションを大幅に拡充し、運営ノウハウの再構築をはかりました。観客動員に注力することにより、会場観戦の魅力を再認識すると同時に、全国の MC(マッチコミッショナー)制度の強化および人材育成により、運営クオリティー向上に尽力しました。全日本選手権大会のリブランディングによって、横浜スタジアムで「A1」を開催し、集客・協賛・PR の観点をはじめ、様々な面で一歩進んだ大会運営を実現しました。

[資格制度] 指導者の質・量を持続的に発展させる体制を整えるべく、指導者資格制度の再構築の方針を固めました。

[日本代表] 6月に男子世界選手権大会が米国サンディエゴで開催され、日本代表は好成績(5位)を収めました。また女子競技においては、米国 NCAA I 部の大学チームで活躍する選手が代表選出される等、世界トップレベルとの距離が着実に縮まっています。

[普及] U12 世代(ジュニアラクロス)の大会を継続実施しました。U18 世代(中高生)に対する取り組みについて方針検討を行いました。

[マーケティング] JLA の理念や長期的なスタンスに共感する企業に対して、日本代表、各選手権大会、地区リーグ戦に関する協賛パッケージを提案し、日清食品株式会社とのパートナーシップを構築しました。日本代表活動や日本で開催する世界選手権大会について、価値の可視化・再定義を行い、今後の収入多様化についての整備を行いました。

[広報] ロス五輪での競技採用を契機にラクロスの社会的注目度が高まり、戦略的メディア対応を

推進しました。専門家と深く連携しつつ、ラクロスの基礎情報や日本代表の活動内容等をより広く発信し、メディアとの関係性構築に取り組みました。公式 web/SNS における情報発信の正確性・速報性の向上、Japan Lacrosse Live (試合映像配信) の品質向上を目指し、地区コミュニティ活性化を推進しました。公式 web/SNS 発信の頻度も拡充し、広く一般に向けて JLA の活動を広報しました。協会機関誌、大会パンフレット等のオンライン発刊に加え、幾つかの媒体では紙での発刊も復活させました。

[安全対策] 医科学委員会内の 3 部会 (安全対策部会、アンチ・ドーピング部会、アスリートパフォーマンス部会) の活動を活性化 および 組織的な安全管理に向けて SG (Safety Guard) 体制を整備し、安全対策の啓発活動の一環として、実地講習会や WEB セミナーを開催しました。

[ガバナンス] 公益法人としての初年度にあたり各種法令・ガイドラインに基づく体制強化を行い、2023 年 12 月に内閣府公益認定等委員会による初回立入検査を滞りなく終えました。中央競技団体として JOC 加盟を見据え、スポーツガバナンスコードを踏まえた規程整備に着手しました。

【決算概況】

収入面では、会費収入がコロナ禍での大幅な落ち込みも下げ止まり、各地区の活動の正常化も伴う参加費収入やチケット収入の計上、助成金事業の定着や、大型の協賛金の獲得等で、収入源の多様化を進めたことにより、通期での収入は予算対比約+33%、2022 年度実績対比+17%の 354 百万円となりました。内、会費収入は予算対比▲1.6%、2022 年度実績対比▲5.9%の 152 百万円となりました。

費用面 (経常費用) では、積極的に現場の再活性を取り組んだ結果、合計で予算対比+25%、2022 年度実績対比+15%の 359 百万円となりました。運営スタッフの交通費、日本代表活動、大会再開による施設使用料、大会パンフレット制作物等、事業活動の再開に伴う支出が増加し、コロナ禍で停止していた組織の活性化が進みました。引き続き、無駄な費用を抑制する構造を維持しつつも、一時的に事業規模が縮小していた地区・部門の再起動をはかった年度となりました。

結果、一般正味財産増減 (通期最終損益) は予算対比で+15 百万円となり、純資産は 132 百万円で着地しました。

事業活動

【公益目的事業の内容】

日本におけるラクロスの普及・振興を通じた、スポーツ文化の創出・人材の育成・地域社会の発展および国際親善の促進を実現するための活動

【趣旨(目的)】

日本ラクロス界を統括し代表する、国際ラクロス連盟(World Lacrosse)に認定された唯一の団体として、ラクロスを通じた豊かなスポーツ文化の創造、及び人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献し、国際親善に寄与することを目的とする。

また、当法人は全ての事業を上記目的の達成手段として実施しており、全国各地区及び全年代での競技活動を実現するためには不可分な事業であるため、当該事業を相互に関連するものとして実施し、一つの公益目的事業としてまとめている。

【事業の内容】

(1) 審判資格認定事業

ラクロス競技の試合において選手およびチーム間に公正、安全かつ円滑に試合をコントロールするための審判員の資格認定テストを行っている。審判員の資格は知識、技能により男子が1～3級、女子が1～4級に分かれており、各級決められた試験において合格し、資格取得に必要な講習会に参加することにより認可、付与される。

① 2024年新規審判員資格試験(オンライン試験)

- 日程:2024年2月11日(日)
- 受験料:1,500円/1名
- 男子競技3級審判員:申込者数2,096名、合格者数606名
女子競技4級審判員:申込者数1,737名、合格者数638名
- ※ 試験合格者は実地講習受講後、各級が付与される。

[各級の保有人数(2024年3月末現在)]

- 男子競技
1級:28名 / 2級:71名 / 3級:226名
- 女子競技
1級:34名 / 2級:96名 / 3級:285名 / 4級:174名

(2) 指導者資格認定事業

ラクロス競技の正しい知識と技能を有するラクロス指導者を養成するために、公認指導者の認定の講習会をS・A・B各級に分けて行っている。(2023年度はS級指導者認定講習未実施)

① A級指導者認定講習(4日間:各タームにて1日間参加)

- 開催日程:

第1ターム:2023年2/4, 2/5, 2/11, 2/12, 3/11, 3/18

第2ターム(1):2023年6/4, 6/18, 6/21, 6/25, 6/28

第2ターム(2):2023年9/3, 9/14, 9/17, 9/30, 10/4

第3ターム:2024年1/6, 1/7, 1/13, 1/20

(※2023年度資格(4/1~有効)対象の講習である2023年2、3月の実績も参考記載)

- 総受講者数:受講 57名、認定 46名
- 受講料:30,000円/1名

② B級指導者認定講習(1日間)

- 開催日程:

2023年3/8, 3/15, 3/19, 3/22, 3/26, 3/30, 4/2, 4/8, 4/9, 4/23, 4/26, 5/10, 5/21(計13回)

(※2023年度資格(4/1~有効)対象講習である2023年3月の実績も参考記載)

- 総受講者数:受講 191名、認定 171名
- 受講料:5,000円/1名

[各級の保有者数(2024年3月末現在)]

SS級:3名 / S級:28名 / A級:504名 / B級:1135名

(3) 審判養成事業

審判資格を持った者を対象に、試合における安全性・公平性・そしてラクロスの競技特性を確保することができるような審判を育成することを目的に講習会を行っている。

[主要地区における開催実績]

① 男子競技:世界大会報告会 兼 講習会(関西)

- 日程:2023年9月9~10日
- 対象者:関西地区所属1級審判員、1級昇級候補となる2級審判員
- 内容:1級昇級における必要な技術の提示、実地での査定、世界大会報告

② 男子競技:審判員育成プログラム(東海)

- 日程:2023年5月21日、10月14日
- 対象者:東海地区2級審判員、2級昇級を目指す3級審判員
- 内容:実地、座学にて技術講習、2級昇級試験の実施、地区内審判部運営のレクチャー

[全国における開催実績]

③ 2023年度JLA公認男子競技3級、女子競技4級審判員資格取得者講習会

- 開催日程:2023年3~5月
- 場所:7地区(北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州)に分け、各地区の事情にあわせ、グラウンドや試合を使用しての実地講習、オンライン講習、会議室使用の対面講習など実施
- 参加者数:680名(女子競技:415名、男子競技:265名)
- 内容:審判員の心得、各級の説明、今後の講習会等について

④ 女子競技若手審判員地区間交流会

- 開催日程:2023年9月~11月
- 場所:オンライン及び東京大井ホッケー競技場メインピッチ(実施講習)
- 参加者数:9名
- 内容:オンライン、実地活動を通じて、より高い技術レベル達するための必要事項の確認、および地区間をまたぐ同世代の交流

⑤ 男子競技1級候補者向け講習会

- 開催日程:2023年9月16~17日
- 場所:大井ホッケー競技場サブピッチ、都内会議室
- 参加者数:6名
- 内容:技術査定、ゲームマネジメントの考え方、および実践、キャリアパス

⑥ 男子競技世界大会報告会

- 日時:2023年9月17日
- 場所:都内会議室・オンライン併用
- 参加者数:10名
- 内容:大会概要、国際競技団体でのランキング制度、事前準備、大会での指摘事項・対策

(4) 選手育成事業

選手を対象に、試合におけるルールの周知やメンバー間のコミュニケーション、競技を通じて心身の健全な育成をすることを目的に講習会を行っている。

① 主要地区における学生競技団体の責任者（主将）に対する研修合宿

- 目的:主将同士の対面交流、各主将の視座を上げ地区としての競技レベル、運営レベル向上
- 開催日程:2024年2月12~13日(宿泊形式)
- 場所:大阪・ロッジ舞洲
- 参加者:60名

② 大会運営スタッフ(ボランティア)に対する研修合宿

- 目的:大会運営スタッフの運営レベル強化とモチベーション向上
- 開催日程:2023年12月9~10日/宿泊形式
- 場所:岐阜・中部大学恵那研修センター
- 参加者:35名

③ MUSHA(「学びのプラットフォーム」)の実施

企業・団体との連携し、競技者向けのプログラム提供を行っている。当協会による独自プログラム提供も実施。

i. ラクロス・クリエイター・アワード 2023 受賞者対談

- 概要:アワード受賞者とアドビ コミュニティ・エヴァンジェリストとの対談。受賞作品を制作した際のコンセプト、活用した知識やスキル、作品に込めた想い、チームやラクロスに与えた(今後与えたい)影響などを、ライブ対談の形式で解説したプログラム。
- プログラム提供:アドビ株式会社
- 開催日程:2023年4月7日、4月17日
- 参加者数:27名

ii. 2023年男子日本代表活動報告会

- 概要:ラクロス男子世界選手権大会に出場した男子日本代表の活動報告会。チームが掲げたコンセプトや大会結果の深掘り、具体的なラクロス戦術/技術とその習得のための活動を共有することを目的としたプログラム。
- プログラム提供:2023年男子日本代表コーチ陣、他
- 開催日程:2023年10月22日、11月11日、12月2日
- 参加者数:112名

iii. スポンサー獲得基礎講座

- 概要:各チームにおけるスポンサー獲得について、成功事例を紹介し、基本的な流れ・陥りやすいミス・留意したいポイントをレクチャーするプログラム。
- プログラム提供:日本ラクロス協会マーケティング委員会

- 開催日程:2024年3月13日
- 参加者数:58名

(5) 初心者体験会事業

正しいラクロスの技術指導を実施することによって、地域に幅広い競技層を開拓し、競技人口の拡大と新人選手の確保・育成に努め、ラクロス競技を通じて地域スポーツの振興を促進し、地域社会の活性化と健全な発展に貢献している。

① キッズ・ジュニアラクロス体験会

協会や地域のラクロス団体が中心となり行う、ラクロスに興味のある者であれば参加できる(会場等の収容可能人数、先着順等の条件はあり)体験会。主に未就学児、小学生を対象とし、安全にラクロスを体験できるようにジュニアラクロスのルールと用具の使い方の指導を行っている。

i. 関西地区キッズラクロス体験会(日本ラクロス協会 主催)

- 開催日程:2023年5月4日、8月11日、11月4日
- 参加者数:50名

ii. 淀川ラクロスフェス(大阪府淀川河川敷公園 主催)

- 開催日程:2023年10月7日
- 参加者数:100名

iii. キッズフェス伊丹2022(兵庫県伊丹スポーツセンター 主催)

- 開催日程:2023年11月5日
- 参加者数:120名

iv. 小学生土曜学習プログラム(名古屋市教育委員会 主催)

- 開催日程:2023年12月9日
- 場所:名古屋市立自由が丘小学校
- 参加者数:32名

- 開催日程:2023年12月16日
- 場所:名古屋市立八事小学校
- 参加者数:26名

v. あかつきキッズラクロス(日本ラクロス協会 主催)

- 開催日程:2024年3月17日

- 場所:美作市総合運動公園ラグビー・サッカー場
- 参加者数:22名

vi . 緑化フェア(仙台市、公益財団法人都市緑化機構 主催)

- 開催日程:2023年6月4日, 6月18日
- 場所:高砂中央公園
- 参加者数:40名

vii . 川崎ジュニアラクロス教室(富士通スタジアム川崎・日本ラクロス協会 共催)

- 開催日程:2023年8月~2024年3月(原則月2回)
- 場所:富士通スタジアム川崎
- 参加者数:1回あたり約10名

② フレッシュマンズキャンプ

地区ごとに、新規入部者である大学1年生を対象にしたキャンプ。大学生からラクロスを始めるものが多いため、新人選手への正しいラクロスの技術指導と競技者相互の親交を目的としており、ラクロスの技術向上、普及振興を期している。

地区	形式	開催日程	場所	参加者数	参加費
北海道	宿泊	2023年6月17-18日	新篠津村運動公園サッカー場 なんぼろリバーサイド公園	87名	22,000円
東北	宿泊	2023年7月8-9日	岩手県八幡平鬼清水水球技場	102名	26,000円
関東	宿泊	2023年6月17-19日 2023年6月24-26日 2023年7月1-3日	茨城県神栖市波崎	741名	37,000円
東海	宿泊	2023年6月24-25日	静岡県つま恋リゾート	255名	33,500円
関西	宿泊	2023年6月10-11日 2023年6月17-18日 2023年6月24-25日	大阪市舞洲運動広場	448名	28,000円
中四国	宿泊	2023年6月24-25日	岡山県玉野スポーツセンター	169名	16,800円
九州	宿泊	[男子]2023年6月10-11日 [女子]2023年6月17-18日	(男子)佐賀県武雄市 白岩運動公園 (女子)佐賀県佐賀市古湯キャンプ	205名	28,000円

(6) 大会開催事業

各地区リーグ戦、各全国大会、国際交流試合等の大会を運営し、多くの試合でオンライン配信（無料配信）を実現している。

① 学生リーグ戦

i. 第 28 回北海道学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年8月19日~10月21日
- 参加チーム数:[女子]6チーム / [男子]5チーム
- 試合数:全27試合
- 優勝チーム:[女子]北海道大学 / [男子]北海学園大学

ii. 第 29 回東北学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年8月4日~10月21日
- 参加チーム数:[女子]5チーム / [男子]5チーム
- 試合数:全24試合
- 優勝チーム:[女子]東北大学 / [男子]東北大学

iii. 第 35 回関東学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月23日~12月23日
- 参加チーム数:[女子]51チーム / [男子]37チーム
- 試合数:全226試合
- 優勝チーム:[女子]日本体育大学 / [男子]日本体育大学

iv. 第 31 回東海学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月22日~11月5日
- 参加チーム数:[女子]13チーム / [男子]10チーム
- 試合数:全75試合
- 優勝チーム:[女子]南山大学 / [男子]南山大学

v. 第 33 回関西学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年8月11日~11月26日
- 参加チーム数:[女子]17チーム / [男子]20チーム
- 試合数:全134試合
- 優勝チーム:[女子]関西学院大学 / [男子]神戸大学

vi. 第 30 回中四国学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月9日~10月28日
- 参加チーム数:[女子]9チーム / [男子]9チーム
- 試合数:全381試合
- 優勝チーム:[女子]広島大学 / [男子]広島大学

vii. 第31回九州学生ラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月15日~10月21日
- 参加チーム数:[女子]9チーム / [男子]7チーム
- 試合数:全56試合
- 優勝チーム:[女子]福岡大学 / [男子]九州大学

② クラブチームリーグ戦

i. 第11回北海道クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月8日~9月23日
- 参加チーム数:[男子]3チーム ※女子は開催なし
- 試合数:全7試合
- 優勝チーム:North AXIS

ii. 第32回東日本クラブチームラクロスリーグ戦

※ 独立行政法人日本スポーツ振興センターよりくじ助成金の交付を受け、実施。

- 開催期間:2023年6月3日~12月16日
- 参加チーム数:[女子チャンピオン]6チーム、[女子ファン]8チーム / [男子チャンピオン]11チーム、[男子ファン]10チーム
- 試合数:全89試合
- 優勝チーム:[女子]NeO / [男子チャンピオン]FALCONS、[男子ファン]SugarRays

iii. 第8回東海クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月8日~10月21日
- 参加チーム数:[女子]3チーム / [男子]4チーム
- 試合数:全17試合
- 優勝チーム:[女子]SELFISH / [男子]OPEC VORTEX

iv. 第29回関西クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月9日~10月15日
- 参加チーム数:[女子]3チーム / [男子チャンピオン]4チーム、[男子ファン]4チーム
- 試合数:全24試合

- 優勝チーム:
[女子]NLC SCHERZO / [男子チャンピオン]ACL、[男子ファン]かぶとむし

v. 第11回中四国・九州クラブチームラクロスリーグ戦

- 開催期間:2023年7月8日~10月14日
- 参加チーム数:[女子]5チーム / [男子]4チーム
- 試合数:全20試合
- 優勝チーム:[女子]SIRIUS / [男子]FERVIENTE

③ 全国選手権大会

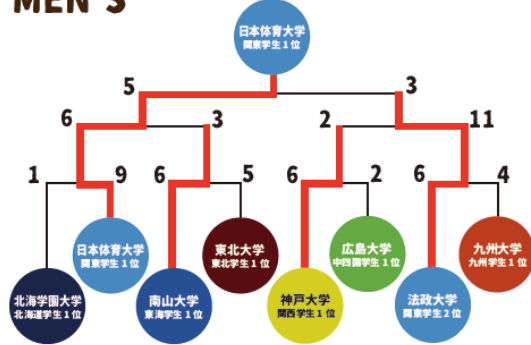
i. 第14回ラクロス全日本大学選手権大会

- 開催日程:2023年11月11日~11月26日
- 場所:全国7会場(1回戦:宮城・広島・福岡・東京、準決勝:名古屋・東京、決勝:京都)
- 参加チーム:男女ともに8チーム(北海道・東北・関東・東海・関西・中四国・九州各リーグ戦優勝校 および 前年度優勝校地区のリーグ戦準優勝校)
- 優勝チーム:[女子]日本体育大学 / [男子]日本体育大学

WOMEN'S



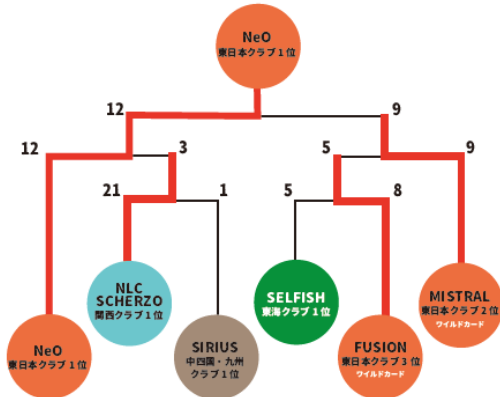
MEN'S



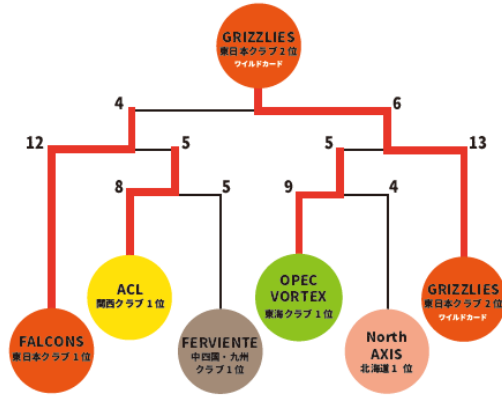
ii. 第24回ラクロス全日本クラブ選手権大会

- 開催日程:2023年11月5日~12月3日
- 場所:1回戦(大阪・名古屋)準決勝(東京・名古屋)決勝(東京)
- 参加チーム:北海道、関東、東海、関西、中四国・九州の各リーグ戦優勝チーム および ワイルドカード1~2枠(前年度優勝又は準優勝支部)
- 優勝チーム:[女子]NeO / [男子]GRIZZLIES

WOMEN'S



MEN'S



iii. 第33回ラクロス全日本選手権大会(A1)

※ 独立行政法人日本スポーツ振興センターより基金助成金の交付を受け、実施。

- 開催日程:2024年1月14日
- 場所:神奈川県・横浜スタジアム
- 参加チーム:全日本大学選手権大会 優勝チーム(大学日本一)
および 全日本クラブ選手権大会 優勝チーム(クラブチーム日本一)
- 優勝チーム:[女子]NeO / [男子]GRIZZLIES

WOMEN'S



MEN'S



iv. 第2回ラクロス全日本学生新人選手権大会～あかつきカップ～

- 開催日程:2024年3月15日～3月17日
- 場所:岡山県・美作市総合運動公園ラグビー・サッカー場
- 参加チーム:北海道、東北、関東、東海、関西、中四国、九州の各新人戦優勝チーム
および 中四国の新人戦準優勝チーム
- 優勝チーム:[女子]慶應義塾大学 / [男子]同志社大学

④ 国際交流試合

i. ラクロス中高生日韓交流試合

- 開催日程:2023年8月12日

- 場所:東京・駒沢オリンピック公園総合運動場第一球技場
- 参加チーム:(女子)韓国 U-18 世代チーム、BEAT BEANS(同志社高等学校)、BRAVE YOUTH(東京成徳大学高等学校)
(男子)韓国 U-18 世代チーム、国内男子高校生チーム(岩倉高等高校、海城高等高校、興国高等高校)

ii. ラクロス U-12 世代 国際交流試合

- 日程:2024年2月3日(土)
- 場所:大井ホッケー競技場 サブピッチ
- 参加チーム:上海 Lynx および国内ジュニアチーム
 - [U-12] 12 チーム (含:上海 Lynx 2 チーム)
 - [U-10] 8 チーム(含:上海 Lynx 1 チーム)
 - [U-8] 7 チーム(含:上海 Lynx 1 チーム)

⑤ その他主催大会

i. 日本代表チャレンジ 2023

- 開催日程:2023年6月10日
- 場所:東京・スピアーズえどりくフィールド
- 対戦カード:
【男子試合】日本代表 vs 関東選抜

ii. 第2回ジュニアラクロスリーグ戦

場所:東京学芸大学附属世田谷小学校、他

[U-12 カテゴリ]

- 開催期間:2023年5月~2024年1月
- 参加チーム数:8 チーム
- 優勝チーム:ラクロスアカデミージャパン

[U-10 カテゴリ]

- 開催期間:2023年4月~2024年1月
- 参加チーム数:8 チーム
- 優勝チーム:ラクロスアカデミージャパン

[U-8 カテゴリ]

- 開催期間:2023年11月~2023年12月
- 参加チーム数:5 チーム
- 優勝チーム:東京学芸大学附属世田谷小学校 LEONIDS Shooting Stars

iii. 第4回関東ジュニアラクロス大会

- 開催日程:2023年12月9日
- 場所:東京・江戸川区臨海球技場
- 参加チーム:計24チーム

U-12(小学6年生以下)	U-10(小学4年生以下)	U-8(小学2年生以下)
<ul style="list-style-type: none">● LSCラクロスクラブ● 湘南びっころラクロススポーツ少年団● 同志社小学校 One Purpose● BABYLAX● ラクロスアカデミージャパン● LEONIDS● 【合同】LSCラクロスクラブ + 市原ユニバースラクロスクラブ● 【合同】JCラクロス横浜 + 大田ラクロスクラブ + HAMALAX● 【合同】クロススマイル・ラクロスクラブ+ Te Verde Lacrosse Club (浜松ジュニアラクロスクラブ)+ 所沢ラクロスクラブ+ いわきラクロススクール	<ul style="list-style-type: none">● JCラクロス横浜● 湘南びっころラクロススポーツ少年団● HAMALAX● ラクロスアカデミージャパン● LEONIDS Lions● LEONIDS Shooting Stars● LEONIDS Leo● 【合同】クロススマイル・ラクロスクラブ+ Te Verde Lacrosse Club (浜松ジュニアラクロスクラブ)+ 所沢ラクロスクラブ	<ul style="list-style-type: none">● LSCラクロスクラブ● LEONIDS Shooting Stars● LEONIDS Leo● 【合同】市原ユニバースラクロスクラブ+ 鎌ヶ谷ラクロスクラブ● 【合同】JCラクロス横浜 + ラクロスアカデミージャパン● 【合同】HAMALAX + 大田ラクロスクラブ● 【合同】クロススマイル・ラクロスクラブ+ Te Verde Lacrosse Club (浜松ジュニアラクロスクラブ)+ 所沢ラクロスクラブ

- 優勝チーム:
[U-12 カテゴリ] ラクロスアカデミージャパン
[U-10 カテゴリ] ラクロスアカデミージャパン
[U-8 カテゴリ] 【合同】HAMALAX + 大田ラクロスクラブ

⑥ 国際競技大会への日本代表派遣

i. 2023 WORLD LACROSSE MEN'S WORLD CHAMPIONSHIP

- 開催日程:2023年6月21日～7月1日
- 場所:アメリカ合衆国・サンディエゴ
- 派遣チーム:男子日本代表
- 参加国:30か国
- 大会結果(順位):5位

⑦ 世界選手権大会の調査・招致活動

日本での世界選手権大会開催に向け、以下活動を実施した。

- 2023年6月26日～7月3日:男子世界選手権大会の視察
 - 世界大会調査・招致の準備活動として、アメリカ・カリフォルニア州サンディエゴにて開催された第14回男子世界選手権大会(2023WORLD LACROSSE MEN'S CHAMPIONSHIP)および附帯大会(ラクロスフェスティバル)を視察
- 2023年8月19日:「世界大会招致委員会」を設立
- 2023年10月18日:World Lacrosse 世界選手権大会担当者による来日視察対応

- 2024年1月25日：2026年女子、2027年男子 各世界選手権大会日本開催決定
- 2024年2月17日：「世界大会招致委員会」を「世界大会準備委員会」に名称変更

(7) 広報普及活動

広報活動に関しては、機関誌の発行をはじめ、公式 web や SNS 等で情報発信の迅速性、正確性、網羅性、品質向上を目指し、更なるコミュニティ活性化を推進させている。安全対策については、医科学委員会が全国の安全対策代表者と連携し、実地講習会や WEB セミナーなどを通して安全対策に対する啓発活動を行っている。

① 機関誌(e-book)発行

- 名称: JLA 機関誌 LACROSSE MAGAZINE JAPAN yearbook 2022-2023
- 公開日: 2023年6月26日
- URL: <https://www.lacrosse.gr.jp/ebook/lacrossemagazinejapan2023/>

② WEB/SNS での情報発信強化

[Web サイト PV 数(2023年4月1日~2024年3月31日)]

- JLA 公式サイト: 1,414,074PV
- ラクロスマガジン web: 99,237 PV

[公式 SNS フォロワー数(2024年3月時点)]

- Instagram
JLA: 6,183 / ラクロスマガジン: 2,430 / フォトグラファー: 2,252 / 北海道地区: 835 / 東北地区: 829 / 関東地区: 5,078 / 東海地区: 1,177 / 関西地区: 2,328 / 中四国地区: 1,239 / 九州地区: 844 / 国際部: 1,363 / 男子日本代表: 9,780 / 女子日本代表: 2,889
- X (旧 Twitter)
JLA: 9,300

③ 試合のオンライン配信 (Japan Lacrosse Live)

[配信実績(2023年4月-2024年3月)]

- 配信動画数: 218本
- 総視聴回数: 217,776回

④ 第28回ラクロス献血推進キャンペーンの実施

ラクロス関係者の社会貢献活動の一環として、輸血用血液が不足する春頃に毎年行う活動。2024年3月11日~31日に各地区で実施した。総受付数は1650名。

[受付数:地区毎内訳]

北海道	東北	関東	東海	関西	中四国	九州
117	38	361	141	731	163	99

⑤ 医科学委員会主催 ラクロス医科学セミナー

医科学委員会により、下記複数のテーマのオンラインセミナーを実施。

i.『緊急時対応 ～準備と気づき～』、『ちょっとだけ、知っとク!? 最近のアンチ・ドーピングやその周辺のこと』

- 開催日程:2023年6月25日
- 参加者数:104名

ii.『ラクロスに必要な体力要素とその評価』、『トレーニングにおける基本的な年間計画の立て方』

- 開催日程:2024年2月4日
- 参加者数:160名

⑥ アンチ・ドーピング委員会の活動

i.アウトリーチ活動(試合会場でのアンチ・ドーピング啓発活動)を実施。

[1回目] 第14回全日本大学選手権大会の決勝戦会場でのブース出展

- 開催日程:2023年11月26日
- 場所:京都・たけびしスタジアム京都
- 参加者:203名

[2回目] 第24回ラクロス全日本クラブ選手権大会の決勝戦会場でのブース出展

- 開催日程:2023年12月3日
- 場所:東京・大井ホッケー競技場
- 参加者:139名